

# イプシロン打ち上げ成功

## 3年ぶり、探査衛星搭載

小型ロケット



探査衛星「ERG (エルグ)」を載せ、打ち上げられた小型ロケット「イプシロン」2号機=20日午後8時、鹿児島県肝付町の内之浦宇宙空間観測所

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は20日午後8時ごろ、小型ロケット「イプシロン」2号機を、鹿児島県肝付町の内之浦宇宙空間観測所から打ち上げた。約13分後、搭載していた探査衛星「ERG (エルグ)」を予定の軌道に投入し、打ち上げは成功した。衛星は「あらせ」と命名された。

イプシロンは日本が独自に開発した固体燃料ロケットで、2013年9月の1号機以来、費用は約50億円、高コストで06年に廃止された前身のM5の3分の2程度に抑えた。

イプシロンロケットは1950年代のペナルティロケットに始まり、日本が独自に開発してきた固体燃料ロケットの最新型で、2006年にコスト高を理由に廃止されたM5の後継機。全長は26.7メートルで主力ロケットのH2Aの半分ほど。直径は2.6メートル、重さ95.4トン。3段階で、1段階目にH2Aの固体補助ロケット、2、3段階目にM5の上段部分を利用している。1号機は宇宙望遠鏡「ひさき」を搭載して13年9月に打ち上げられた。

連続成功で技術の信頼性が高まった。また主力のH2AやH2Bといった液体燃料のロケットと合わせて二つの燃料タイプの体制が確立し、日本のロケットの多様化が進んだ。人工知能による機体の自動点検や、パソコントラックで打ち上げを制御する「モバイル管制」などのIT技術を導入。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【】

① 見出しの言葉を使って、記事を要約しましょう。

② 「イプシロン」2号機の打ち上げ成功は、日本に何をもたらせましたか？二つ書きましょう。

NEEワークシート／小学校高学年／高校／国語、理科、総合、朝NEE